



通

高



信

専



VOL.
154



新入生へ贈る言葉
各副校長ご挨拶
新留学生紹介

卒業生・修了生に
贈る言葉
2019年度
進路状況



2020年5月発行
苫小牧工業
高等専門学校
〒059-1275
苫小牧市字錦岡443
苫小牧工業高等専門学校
総務課総務係
<https://www.tomakomai-ct.ac.jp>
[MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

新入生へ贈る言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これまで暖かく支えてくださったご家族の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

令和二年度 苫小牧工業高等専門学校 入学式を挙行することができ、新入生を迎えられること、教職員一同、本当にうれしく思います。

今年度は、本科第一学年入学生二百十六名、第三学年入学外国人留学生二名、専攻科第一学年入学生十五名、合計二百三十三名を迎えることができました。新入生の皆さんは、令和最初の入学式の入学生となります。

苫小牧工業高等専門学校は、昭和三十九年、一九六四年四月に設置され、五十六年の歴史を有します。このころ、全国各地に工業高専が設置され、現在は五十一の国立高専で約五万人の学生が最先端工学を熱心に学んでいます。皆さんは苫小牧高専に留まらず、全国の高専生とともに学ぶこととなります。そして、ロボコンのような各種のイベントを通じて、全国の仲間と競い、交流する機会があります。さらに、高専は海外の教育機関との連携も強化しています。これは、留学生の受け入れのみではなく、高専生が海外の大学等で研修を積む機会を提供するものです。グローバル化と言われるように、多くの技術者にとって、海外で活躍することは当たり前の時代となっています。是非とも積極的に国際交流の活動にも参加してください。そのためには、英語力を高めることは必須です。これは、授業だけでなく、自分自身の努力が必要です。

高専は五年間で大学卒業に匹敵する高いレベルの専門教育を行う学校です。さらに二年間の専攻科では、一層高度な専門教育と先端研究に取り組み、大学卒業と同じく学士の学位を授与されます。本科に入学される皆さんは、一日も早く専門教育を受けたいと心待ちにしてい



ることでしょう。最近では、中高一貫の六年制学校が増えてきています。これは、一貫教育によって、じっくりと考える力を身に付け、グローバル社会で活躍できる国際性の涵養を目指すためと言えます。高専は、同様の教育を五十年以上前から実践し、我が国の工業の発展を牽引してきました。これからの高専での日々は、決してすべてが順調ではなく、難しい勉強に苦勞をし、クラブ活動の厳しさに耐え、友人関係に悩むこともあるかと思えます。しかし、そのすべてが立派な技術者として社会で活躍するための準備であり経験となります。

皆さんは既にかなり高度な情報化社会で育っていますので、これから訪れるであろう仮想と現実を高度に融合させる新たな社会システムを違和感なく受け入れられるかもしれません。しかし、これまでもそうであったように、社会構造が変化すると、人々の生活や精神面において予期せぬ問題が生じる可能性があります。これからの技術者は、単に高機能・高性能な製品を生み出すだけではなく、社会に及ぼす影響についても注意深く考える必要があります。そのためには、皆さん自身が物事を深く考え抜く力を身に付けなければなりません。加えて、周りの意見に耳を傾け、自分自身の意見を明確に伝えるとともに、周囲との協調を図ることが重要です。高専における様々な学びと活動を通して、自分自身の社会人力の向上にも励んでください。

苫小牧高専の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。教職員一同、皆さんの学びをしっかりサポートしますが、皆さん自身の学び続ける姿勢が一番大事です。

皆さんが楽しく充実した学生生活を送り、最後には全員が揃って卒業・修了の日を迎えられることを期待しております。

令和二年四月七日

苫小牧工業高等専門学校長 小林 幸徳



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから5年間、普通高校とは違い専門分野を中心に勉強します。都市・環境系では、水、土、構造などを中心に学びます。実験でコンクリートを破壊したり、外で測量実習を行うなど、体を動かし班員と協力して行う作業も多いのが特徴です。2年生になる前に五つの系から一つを選ぶこととなりますが、4年間の学校生活はもちろん、将来の進路選択を左右するような大きな選択になると思います。ですから、系体験や先輩方の話を通して系の特徴を理解し、悔いの残らないような選択をしてください。5年という時間は皆さんが思っているよりも遥かに短いものです。この短い時間の中で仲間や先輩方と協力し、勉強だけでなく部活動や学校行事に積極的に参加し、たくさんの思い出を作り、高専の生活を楽しくしてください。皆さんの高専生活が、将来振り返った時に自信を持って良かったと言えるようなものになることを心から願っています。

都市・環境系5年 小山佳祐



ご入学おめでとうございます。今年はなかなか思ったように物事が進まないかもしれませんが、ぜひこの一年間で課外活動と系選択を全力で行ってほしいです。部活動をしないと特に寮生をはじめ学校が近い学生は時間を持て余してしまうと思います。ぜひこの時間を使って青春してください。最も大事なことは系選択でこれは創造工学科の特権です。先輩や先生、授業を通していろいろなことから自分に合った系を考えてみてください。時間の許す限り悩めるだけ悩んでください。私個人の意見としては機械系がおすすめです。工業高専らしく、さらにどんな分野にも必要とされる知識を学ぶことができ、就職する際にもいろんな企業が選べると思います。特に機械いじりが好きだったり、設計してものづくりをしてみたいという方にはおすすめです。来年度機械系の後輩になってくれたら本当にうれしいです。新しい環境での一年間楽しみながら勉強して、充実した高専ライフを送ってくださることを心より願っています。

機械系5年 高田洋平



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。4月から新しい環境に変化し、期待と不安が胸がいっぱいかと思われま。私も入学当初を振り返ると、勉強についていけないか、友達がたくさんできるかと不安がたくさんありましたが、先輩や先生方が優しく接してくれたおかげで、こういった不安も知らないうちになくなっていました。しかしながら、不安定な世界情勢の状況下で、オリエンテーションや対面式といった、学生らの交流の機会が失われ、残念に思います。高専祭や体育大会など交流する機会はまだまだたくさんありますので、充実した日々を送れるかと思えます。また、この1年を通して、多くの分野を勉強し、コース決めの参考にしてください。情報科学・工学系では、4年間を通して、プログラミングを中心に幅広い分野を勉強しています。5年間の高専生活は、長いようで短いですが、皆さんが充実したものになるよう応援しています。

情報科学・工学系5年 野村優花

在校生からのメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は入学してすぐ、中学に比べてとても速く進む授業のスピードについていけず、悪戦苦闘した記憶があります。そんな私でもここまで頑張ってきたのは、周りの友達や先輩の支えがあったからだと思います。高専は高校と違い、5年制の学校です。オリエンテーションで顔合わせをした人達とこれから20歳まで共に過ごすということです。今は環境に慣れることに必死かとは思いますが、周りによくコミュニケーションを取り、友達と支え合うことが、難しい勉強や課題を乗り越えられる秘訣です。



系選択をする上では、「〇〇を専攻したいから」という観点からだけではなく、その系からどのような職に就くことができるのか等を予め知っておく事が大事だと思います。今から就職のことはなかなか考えにくいとは思いますが、少し意識するだけで系選択の失敗は少なくなると思います。充実した5年間を過ごせるかどうかはあなた次第です！一緒に楽しみましょう！

応用化学・生物系5年 滝本彩乃

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんには将来の進路のイメージを持っている人、まだ漠然としている人の両方いると思いますが、電気電子系では、座学や実験を通して、私たちの生活のあらゆる場面で必要となる電気の基礎を幅広く学びますので、就職できる会社や活躍の場がとてん山あります。系選択に迷う1年間になると思いますが、系を選ぶ際には5年間頑張れるかだけでなく、その先の長い人生で自分が活躍できるかを考え悔いがないように選んでほしいです。そこで電気電子系を選んでもらえたら幸いです。また、ぜひ皆さんには高専の豊富な部活動に全力で打ち込み、横の関係だけではなく、縦の関係を沢山作って欲しいです。実際に私も高専の5年間で、部活の先輩方の人柄に恵まれ、大変充実した日々を送ってきました。勉強との両立が…と悩めるのはもったいないです！皆さんが充実した高専生活を送れることを心から願っています。



電気電子系5年 高橋友喜

新1年生の皆さん

この原稿を執筆しているのは年度当初です。新型コロナウイルス感染防止のために入学式が短縮されたり、1泊2日の1年オリエンテーションが中止されたりするなど、異例づくめの展開となりました。マスクの着用が義務化されたり、教室内の換気を良くするため、まだ寒い春先に教室の窓や扉を開けて授業を受けたりするなど、今まで体験したことのないような措置が実施されて、皆さんの中にも戸惑いや不安を感じていた人たちが大勢いたことと思います。

このような状況が入学式以来3日間（寮生は入寮式以来4日間）続いた後、道内でも再び新型コロナウイルスの感染者が増えたことによって臨時休校が決定され、4月10日から5月6日まで（執筆時現在）休みにになりました。本当に想定外の事態となり、これからどうなるのか予断を許さない状況です。この文章が高専通信に掲載される頃にはどのようなことになっているのでしょうか。

さてここで、それぞれのクラスの担任教員の紹介に移ります。1組は加藤初儀（担当教科：物理基礎（全クラス））、2組は東俊文（担当教科：英語IA（1組、2組））、3組は坂下俊彦（担当教科：地理（全クラス））、4組は金野幸吉（担当教科：数学IA（4組、5組））、5組は石川愛弓（担当教科：英語IA（3組、4組、5組））です。各担任とも全力を尽くしてこの1年間皆さんを支えていこうと張り切っています。

以下、これからの高専での生活で重要な事柄について述べていきます。

まず、肝腎の学業についてですが、高専の授業はおそらく中学校の時よりも授業の進行が速いと思います。授業を真剣に聞いて、ノートをまめにとる習慣を身につけてください。そして、授業前には予習と授業後には復習を必ず行ってください。科目にもよりますが、最低限、授業前には教科書で進み範囲に目を通し、授業後には取ったノートを確認すると良いと思います。また、授業で出されたレポートや課題は期限までに必ず提出してください。特にレポートは専門系の授業では必ず課されますし、レポートを書いて提出することは非常に重要視されていて、学年が進むにつれて課される量が多くなります。授業でわからないところが出てくるかもしれませんが、その時は授業を担当している先生に聞きに行ってください。親切に教えてくれると思います。仲良くなった友達に相談するのも良いかもしれません。もしかすると、中学生の時は特に勉強しなくても成績が良かったという人もいるかもしれませんが、また、勉強を学習塾に頼っていたという人もいるかもしれません。そういう人ほど早く上述した学習習慣を実践するようにしてください。最初は比較的良好な成績だったけれども、習慣的に学習をしないうちに、成績が落ちてきてしまった先輩を今まで多く目にしてきました。油断してしまって、成績が悪くなり、後

で苦しい目に遭わないよう、くれぐれも気をつけてください。普段の授業の成果として定期試験等が実施されます。試験直前になってから対策をするのではなく、試験のしばらく前から、ある程度計画的に勉強を始めるようにしてください。

生活面についてです。まず基本中の基本ですが、授業に欠席や遅刻をしないようにしてください。ただ、やむを得ず欠席や遅刻をせざるを得ないときには必ず学級担任まで連絡してください。次に、授業中にはスマートフォン等は電源を切り、カバンにしまってください。授業中ぎりぎりまでスマートフォンをいじっているということがないようにしてください。その他、ホームルームの基本的な仕事として、学級日誌の管理、日直の仕事、黒板や床の清掃がありますが、これらもきちんと責任を持って実施するようにしてください。

さて、高専では高専祭（今年度10月24日～25日実施予定）をはじめとして、春季体育大会（6月19日実施予定）、冬季体育大会（12月17日実施予定）などの行事が実施されます。高専祭では、2年生以上はクラスが実施する催し物として屋台や食堂を出店しますが、1年生はここ最近「ピタグラスイッチ」のからくり模型を作製することになっています。来場者アンケートに基づくコンテストになっていますので、各クラス工夫を凝らし、見て面白くて楽しいからくり模型を作製しましょう。春季体育大会では駅伝や二人三脚、ソフトボール、フットサルなどの種目が、冬季体育大会ではバレーボールや卓球、相撲などの種目が実施され、熱い戦いが繰り広げられます。それぞれの行事はクラスの団結力を強めるとともに、クラスメイトとの友情を育む楽しいものとなっています。積極的に参加して盛り上げていきましょう。

以上、高専での生活についてその一端を記してきました。長い臨時休校のため、まだ高専での生活に慣れてはいないかもしれませんが、今後約1年間1年生の皆さんが高専での生活を満喫し、みんな無事2年生に上がれることを期待したいと思います。

第1学年担任からのメッセージ



ご挨拶

令和2年度も引き続き副校長(学生主事)を担当することとなりました創造工学科の中島です。赤塚、小藪、佐々木(幸)の三主事補とともに、学生生活全般の指導・助言・支援を行ってまいります。

学校は勉学の間であると同時に、青春時代の多くの時間を仲間とともに過ごす生活の間でもあります。日々の生活の中では時として心が揺れ動くこともあるかと思いますが、そういった経験も含めて学生諸君の学校生活が、健全かつ心豊かに光り輝く日々となるよう、教職員一同全力で見守るとともに支援してまいります。

今年度も「すべては学生のために」の精神のもと、保護者をはじめ関係各位のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ご家族の生活もそれぞれに大変な状況かと思えます。こんな時だからこそ、皆で力を合わせて乗り切りましょう。

副校長(学生主事) 中島広基



GREETINGS

各副校長 ごあいさつ

令和2年度の学生寮

昨年度に引き続き寮務主事を仰せつかりました。令和2年度の寮務主事補は生活指導担当の多賀先生(総合自然科学系)宇津野先生(応用化学・生物系)そして寮生会担当の佐々木先生(総合人文科学系)土谷先生(機械系)にお願いしております。主事団一同で力を合せて寮生指導に当る所存です。

今年度の学生寮は男子284名(うち留学生6名)女子58名(うち留学生2名)総計寮生342名を迎えてスタートしました。非常事態ゆえに日課の変更等、寮生には色々不便を感じさせますが、必要あっての措置ですので、保護者の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

男子寮第4棟3階を女子寮棟に繋ぐ工事が竣工し、今年度から通称「女子寮4階」としての運用が開始されました。女子寮生定員の増加という課題が解決されたことを喜ぶとともに、女子寮における新たな指導のあり方について、注意深く改善を重ねて行きたいと思っております。

また男子寮棟についても順次改修の計画を立て、高専機構に申請しているところであります。申請が通った場合、老朽施設の改修は当然ありがたいことなのですが、反面、改修工事の当た寮棟は一定期間、居住不能ということにもなります。その年度、男子寮生の数を減らすために一時的な指名退寮をお願いすることがあるかもしれません。保護者の皆様には事情御察察の上、御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本稿執筆時点では新型コロナウイルス感染症流行の終息はまるで見通せない状況です。本号がお手紙に届くころにはなんとかが落ちついて、寮生全員、笑顔で過ごしていることを強く願います。

副校長(寮務主事) 山際明利



ご挨拶

今年度も総務主事を務めます古崎 毅(応用化学・生物系)です。総務主事補の稲川先生、有馬先生と共に、グローバルエンジニア育成の推進、学校行事等の情報発信、及び学校の種々のシステムの点検評価及び学校の環境整備等をして参ります。本年度は新型コロナウイルスの世界的な感染状況を考慮して、残念ではありますが、9月末までの学生の派遣及び受入を中止することにしました。なお、10月頃に春休み期間での海外派遣が可能かどうかを検討する予定です。

また、本年度は暖房・給水設備の整備および学術情報センターの大規模改修が予定されております。学生の皆様にも長期間ご不便をお掛け致しますが、学生・教職員が安心して勉強・仕事に励むことができる環境整備のためですので、ご理解とご協力をお願い致します。

保護者・同窓生・地域の皆様におかれましては、今後とも学校の改革・学生の教育にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副校長(総務主事) 古崎 毅



みなさまよろしくお願いたします

副校長(研究主事・専攻科長)をしております二橋といひます。本科ならびに専攻科に入学された学生の保護者の皆様、おめでとございます。幸いなことに本校の入試は新型コロナの影響を受けずに済みましたが、保護者の皆様は、お子様の入学が決定するまで多分のご苦労があったことと拝察いたします。私は主に本校の専攻科と研究面を担当させていただいております。本科の学生の保護者の皆様には馴染みが薄いかもしれませんが、本校には専攻科というものがあります。これは、本科の5年間の課程を卒業後に2年間学び、大学卒業と同等の学士の資格が得られる課程です。学生たちはより専門を深め、高度な研究を行っていきます。卒業後は、就職だけでなく各大学院に進学する学生も大勢おります。専攻科はもろんのこと本科においても、高専が他の高等学校と決定的に異なるのは、教員が教育だけでなく研究も行っている点にあります。保護者の皆様には目に付きづらいですが、これこそが高専を高専たらしめている重要な点です。さらに近年は、外部から研究の為の資金を獲得することも、教員にとっては重要な仕事になってきております。これらは教員の質の保証の上でも重要な要素になってまいります。今年度も引き続きこれらの点を、皆様からは目立ちませんが、縁の下から支えていく所存です。

副校長(研究主事・専攻科長) 二橋創平



ご挨拶

昨年に引き続き教務主事を担当する村本です。教務主事補の高橋教授、大橋准教授、浅見准教授のサポートを得ながら、本校の教育環境の充実・改善に努めて参ります。

さて、情報社会から超スマート社会(Society5.0)へと急激に変化しているこれからの社会で活躍する学生諸君にはジェネリックスキルが求められています。ジェネリックスキルはどんな時にも汎用的に役立つ能力・態度・思考のことですが、「問題解決力」ということもできるでしょう。具体的に言えば、今まさに直面している新型コロナウイルスにどのように対応するかという課題を解決するために必要となるのがジェネリックスキルです。これまでの延長線上に解はありません。必要な情報を収集・分析し、仲間と協力し、関係機関と交渉し、今までと異なることを実行するならば、覚悟と決断力が必要です。

今年度はいろいろなことが今まで通りではないと思いますが、創造工学科で学ぶ学生には自律的に行動する能力が身につけると確信しています。与えられた条件下でどうすべきか、一緒に考え、ともに成長できることを願っています。

副校長(教務主事) 村本 充





都市・環境系3年

バトチュルーン ムンフチメグ

新しい生活

私はモンゴルから来た留学生モンジです。わたしはモンゴルでモンゴル高専という学校で三年間勉強しました。その後去年の4月から東京日本語教育センターで一年間日本語を習いました。でも日本人と一緒に生活するのは初めてです。

苫小牧高専に来てから一週間しか経っていませんが、友達がたくさん出来ました。そしてモンゴルとマレーシアとラオスから来た6人の先輩がいることが私は嬉しかったです。苫小牧高専の先生たちもとても優しいので三年間住むのは安心と思っています。

私はテニスの部活に入りたいと思います。私の勉強する学科は創造工学科です。モンゴルと北海道の気候は同じぐらいなので土木のいろいろなことを習って、モンゴルでもいろいろなものを作りたいです。授業以外でも習うものが多いと思います。よろしくお願いします。

学生会の紹介

新 入生が入学してから、まだあまり時間はたっていませんが、新型コロナウイルスの影響によって、始業式は各クラスで行われ縮小化し、対面式・1年生オリエンテーションがなくなりました。対面式・1年生オリエンテーションは、1年生が高専生活を始めるに当たって、先輩や同学年とのつながりを広げるきっかけとなる行事でした。4月の行事は1年生中心となるものが多かったので残念に思います。しかし、これから春季体育大会や高専祭などクラスが一致団結できるようなイベントがありますので、1年生だけでなく全学生が積極的に参加して盛り上げてほしいと思います。

学生会執行部としても、今年は何が起こるかわからない中、例年通りにいかないことがあると思いますが、臨機応変に行事をサポート・運営できるよう努めていきたいと考えています。皆様のご協力よろしくお願いします。



学生会長 5年2組 相藤優輝

高専通信 行事予定 (2020年度)

前期

4月 1日(水)～ 6日(月)	春季休業
7日(火)	入学式
8日(水)	始業式・対面式(中止)・第1学年ガイダンス 健康診断 ※歯科健診、内科検診未定
9日(木)	前期授業開始
14日(火)	第2学年オリエンテーション(中止)
16日(木)～ 17日(金)	第1学年オリエンテーション(中止)
20日(月)	開校記念日
5月 1日(金)	授業参観(中止)
22日(金)	専攻科推薦選抜
下旬	学生総会(延期)
6月 4日(木)～ 5日(金)	特別時間割
12日(金)	専攻科学力・社会人選抜
19日(金)	春季体育大会(予定)
7月上旬	壮行会(中止)
11日(土)～ 12日(日)	道内高専体育大会(中止)
27日(月)～ 9月6日(日)	夏季休業
8月 19日(水)～ 9月6日(日)	全国高専体育大会(中止)
22日(土)～ 23日(日)	オープンキャンパス
31日(月)	4年編入学試験
9月 18日(金)～ 28日(月)	前期定期試験

後期

9月 30日(水)	後期授業開始
10月 10日(土)～ 11日(日)	全国高専プログラミングコンテスト(当番校)(予定)
24日(土)～ 25日(日)	高専祭
11月 2日(月)	保護者懇談会
5日(木)～ 6日(金)	第3学年道内工場見学旅行
10日(火)～ 13日(金)	第4学年総合研修旅行
26日(木)～ 27日(金)	特別時間割
12月 17日(木)	冬季体育大会
28日(月)～ 1月6日(水)	冬季休業
1月 23日(土)	入学者選抜推薦面接
2月 10日(水)～ 17日(水)	後期定期試験
19日(金)	終業式
21日(日)	入学者選抜学力検査
3月 1日(月)～ 31日(水)	学年末休業
19日(金)	卒業式・修了式

学生課からのお知らせ

本校の学生課は、担当する業務によって4つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係(担当者)に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係(担当者)ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。

教務係

[直通電話] 0144-67-8001

- ・授業、試験に関すること
- ・休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- ・在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- ・学生証の申請に関すること
- ・担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡



学生係

[直通電話] 0144-67-8032

- ・奨学金(日本学生支援機構等)に関すること
- ・入学科、授業料の免除に関すること
- ・学生の課外活動、行事等に関すること
- ・学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること

<保健室・学生相談室> [直通電話] 0144-67-8908

- ・学生の保健管理(カウンセリングの申込等)に関すること

<キャリア教育センター> [直通電話] 0144-67-8946

- ・就職、進学(大学への編入学試験等)に関すること

寮務係

[直通電話] 0144-67-8002

[学生寮教員当直室] 0144-67-8024

(夜間緊急用17:00～8:30)

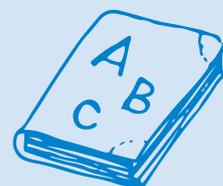
- ・学生の入寮及び退寮に関すること
- ・寮費の徴収など諸経費に関すること
- ・緊急の場合の外泊の連絡



図書係

[直通電話] 0144-67-8907

- ・図書の閲覧、貸出しに関すること
- ・学術文献の収集及び提供に関すること
- ・その他学術情報センターに関すること



卒業生へ贈る言葉

本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

本校の卒業生は、これまでに七千八百名を超えており、皆さんもその一員として加わることにあります。また、専攻科は約三百六十名の修了生がいて、広い分野で活躍されています。

新型コロナウイルスの影響により、第五十二回卒業証書授与式および第十六回専攻科修了証書授与式を挙行できないことは誠に残念であり、皆様方のご希望に沿うことができなかったこと、心よりお詫び申し上げます。

これまで暖かく支えてくださいましたご家族の皆様方には、心よりお慶び申し上げますとともに、皆様と共に晴れの日を祝うことができませんと、大変心苦しく存じます。

私は、昨年十月に着任しましたので、皆さんとは約五ヶ月という短い期間しか接することができませんでした。しかしながら、成果発表会や様々なイベントで皆さんが研鑽し、後輩たちをリードしている姿を見るたびに、大変頼もしく感じておりました。

皆さんにとって、本校での五年間あるいは専攻科を加えた七年間の学びはどうだったでしょうか。決して、すべてが順調ではなく、難しい勉強に苦労をし、クラブ活動の厳しさに耐え、友人関係に悩んだ日々もあったかと思えます。そして、すべてを乗り越えた成果の結実として、今日の日を迎えられたのです。高専での日々は、皆さんのこれまでの人生のおよそ四分の一の時間となります。これから何倍もの長く輝かしい未来が待っている

皆さんではありますが、最も多感な十代の後半を過ごした本校における経験は、今後の人生において必ずや活かされるものと確信しています。

皆さんはSocietyの未来社会という言葉聞いたことがあるでしょうか。これは、日本政府が掲げている言葉であり、サイバー空間とフィジカル空間、すなわち仮想と現実を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな社会のことを指しています。皆さんは既にかなり高度な情報化社会で育つていまして、もしかすると違和感なく受け入れられるかもしれません。しかし、これまでもそうであったように、社会構造が変化すると、人々の生活や精神面において予期せぬ問題が生じる可能性があります。これからの技術者は、単に高機能・高性能な製品を生み出すだけではなく、社会に及ぼす影響についても注意深く考える必要があります。そのためにも、皆さん自身が物事を深く考え抜くことが重要です。学びの場は教室の中の授業のみではありません。日々進歩する技術や変化する社会に対応するためには、あらゆる場を通じて学び続ける力が必要です。加えて、周りの意見に耳を傾け、自分自身の意見を明確に伝えらるとともに、周囲との協調を図ることが重要です。

本校の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。これからもこの理念を胸に、自ら進んでさまざまな課題に取り組んでください。将来何か難しい課題

にぶつかったときに、恩師である先生たちは必ずや皆さんにとって良きアドバイザーとなることでしょう。高専の門戸は卒業生・修了生にも開かれていますので、気兼ねなく訪ねてください。私たち、教職員一同、社会で活躍している皆さんと再会できることを楽しみにしています。

これからの未来社会を築くのは皆さんたちの世代です。皆さんのさらなる成長を願うとともに、皆さんの未来に心から期待しております。

令和二年三月十二日

苫小牧工業高等専門学校長 小林幸徳



楽しい高専生活

高専はとても良いところです。勉強しなくても簡単に進級・卒業できるため、自分の好きなこと、やりたいことにたくさん時間を割くことができます。専門外の勉強をするもよし、ひたすら部活に打ち込むのもよし、趣味に没頭するのもよし、墮落した生活を送るもよしと様々な選択肢から自分に合った生活を送ることができるのが高専最大の魅力です。皆さんも自分のスタイルに合った生活を見つけ、存分に長い高専生活を楽しみ切って欲しいと思うところです。こんなことを書いて怒られないか心配ですが、自分に頼んだのが悪いと思うのでご容赦ください。

さて、最後にここで謝辞を。5年間お世話になった物質工学科の先生方、奨学金関連でお世話になった学生課の皆さん、そしていつも色んな面で支え続けてくれた両親に最大の感謝を贈ります。本当にありがとうございました。



物質工学科5年 永井和生

贈る言葉

私にとっての高専は、出会いの場です。大切な友人と出会い、自分の中身を大きく成長させることができた5年間でした。

私のクラスでは、卒業アルバムを作りました。メッセージを書いてもらった中で、心にグッと来た文章があります。意外な友達からのメッセージでした。なんならそこの仲ではないかと思っていた人からでした。心に刺さる文章は、5年間という時間があつたからこそ書けたことで、その5年間に重みを感じました。

5年間どんなふうに通うかは自分次第です。何事にも真剣に向き合い、努力してください。努力したことは実を結ばない時もあります。ですが努力したその過程を大切にしてください。あなたを見てくれる人はたくさんいます。

最後にコロナの影響で卒業式がなくなり、もう会うことのできない人がたくさんいます。とても残念です。この場をお借りして感謝を述べたいと思います。ご指導頂いた先生方、私を支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。



環境都市工学科5年 石田梨紗

たくさんの出会いがあつた7年間

はじめに、本科5年間、専攻科2年間、共に過ごしてきた友人達、部活動を一緒にやり遂げた後輩や先輩方。また、授業や実験など懇切丁寧に指導してくださった先生方、部活動や研究、課外活動等でお世話になった皆様、一生懸命サポートしてくれた両親にお礼申し上げます。ありがとうございました。

7年間の高専生活で、後輩たちに伝えたいことは“どこに行っても何をしても人との関わりが重要”だということです。

私は在学中の7年間、日々の授業、課題、実験、レポートに加えて、部活や高専祭、体育大会、その他海外研修など様々なことに積極的に取り組みました。しかしそれらは決して一人だけではできないことでした。クラスの仲間、先生や先輩、後輩、研修等で知り合った人たちの協力がなければ決してやり遂げられなかったことがほとんどです。

これは無理やり協力しようとしてやったことではなく、きっとお互いに尊敬と信頼があつたからこそ、やってこられたことだと思います。社会では人間関係について色々と言われていますが、今いる仲間やこれから出会う人と存分に、全力で高専生活を楽しんでください。



電子・生産システム工学専攻2年 金澤豊世

高専生活を振り返って

高専に通い始めて7年間が経ちました。長い期間のように見えますが、意外とあっという間に過ぎていった気がします。多くのレポートや専門科目、毎日のように出る課題をこなしていくのは決して楽ではありませんでしたが、人として技術者として大きく成長することができました。また、勉強以外にも寮生活で先輩・後輩とのかわわり方、一人暮らしでは家事を自分で行い生活していく力を身に付けられました。

高専生活は長いように見えて意外とあっという間に終わります。在校生の皆さんも貴重な高専生活を一日一日大切に楽しんでください!!

実際僕は寮で毎日のように鍋をしたり、旅行に行ったり釣りをしたり高専在学中はひたすら友人たちと遊んでいましたが、無事に卒業できています。

最後になりましたが、数々のご指導、ご鞭撻をいただいた先生方、楽しい時間を共に過ごした友人たち、様々な面で支えてくださいました方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



環境システム工学専攻2年 熊谷慎次

卒業生・修了生 からの言葉

VOICES of Graduates

いつまでも自分らしく

高専にいるとレポートやテスト、アルバイトに追われて何のために生きるのかからなくなります。だけど、ここで諦めたら後になって「あの時頑張れば…」なんて思ってしまうと思います。「あの時頑張ってた…」って思えるように過ごしたほうがいいですね。私だって、なんで努力するの?と何度も心を折られそうになりましたが、その答えはこの5年間で分かりました。自分らしく生きるためです。例えば、〇〇になりたいと思ったら努力は必要ですよ。でもなぜか、きっかけがないとそう簡単に行動には移せません。私は中学生の時、勉強をしても、ギターを弾いても、スポーツをしても、全てにおいて周りの人間並みにはなれず、自分に自信の持てない人間でした。しかし、高専生活で嫌々努力していくことで自分だけではなく他人からも認められるようになったと思います。高専とはそういうきっかけを与えてくれる場所なのです。

私は、これからも自分らしく生きるために努力します。皆さんも乗り越えてください。



機械工学科5年 桐木拓斗

成長した5年間

苦小牧高専での生活は振り返るとあっという間の日々でしたが、この5年間で私は得たものが大きく二つあると実感しています。一つ目は時間との上手い向き合い方です。実験レポートを毎週提出しなければならない中で、日頃の勉強や課題等を怠らないようにするため、時間配分をよく考えて効率良く終わらせることができるようになりました。二つ目は人との繋がりで、日々の授業や部活でお世話になる先生方や友人、先輩、後輩のほか、学外でも多くの方が私のことを支えてくださる本当に恵まれた環境の中で生活できたことに心から感謝しています。そんな多くの人と繋がることで、自分自身だけでは気が付かなかったことや大切なことを学び、救われる場面がたくさんありました。この二つのことは学校生活のみならず、社会に出て一生大切なことだと思います。みなさんも高専にいるいろいろなことに目を向けて、吸収していくことができれば、今できないこともできるようになると思います。実りある高専生活を過ごすことができるよう、私はみなさんのことを心から応援しています!



電気電子工学科5年 岩佐百華

贈る言葉

高専での生活は、多くの人に支えられながら乗り越えた5年間だったと感じます。日々のレポートや課題、寮の生活でも、友人そして先生方の存在は大きな助けになりました。また、苦楽を共にした部活動の先輩・後輩、そして指導してくれた先生方。この場をお借りして感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。

さて、贈る言葉ということで後輩たちに伝えたいのは“何かをし続けてみる”ということです。高専生活の5年間というのは、良くも悪くも単調なものになりやすいです。ただ毎日漠然と学校にきて、授業を受けて帰るというのではあまりにもったいないです。高専生活は、何かをし続けるには絶好の機会だといえます。それは勉強でも、部活でも、自分の好きなことでも、なんでもいいと思います。卒業を控え、高専での生活を振り返ったとき、“何かし続けた”という実感が自分の中にあると良いなと思います。後悔のないよう、頑張ってください。



情報工学科5年 石原颯

卒/業/生/父/母/か/ら/の/言/葉

桜咲くころ

環境都市工学科卒業生/持館我架
《父・母》持館 透・恵美子

卒業生の皆様・保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

環境都市・電気電子工学科をそれぞれ卒業した姉2人の背中を見て、高専の入学を決意してから早5年。穏やかでマイペースに育った子ですが、歳の離れた厳しい姉達に叱咤激励されながら、あなたらしい素敵な道を導き出してくれました。

姉弟3人合わせて12年間、親としても毎年校舎に咲く桜を楽しみにしながら、ささやかに子供たちをサポートできる喜びを感じることができました。

最後にこれまで出会った仲間、先生方、家族すべての人達への感謝を決して忘れないでください。その人達は一生の宝であり、またいつかどこかであなたを助けてくれる貴重な財産です。そして、自分自身もまた“誰か”の支えになれるよう、あなたらしく、その優しさで真面目さを武器に激しく変化していく社会に向かってください。大丈夫、これまで高専で培ってきた知識や経験はきっとこれからの未来を明るく照らしてくれるはずですよ。

これからも苫小牧高専がたくさん素晴らしい学生が育つ場所でありますように。

旅立ちの春

物質工学科卒業生/外山楓菜
《母》外山愛美

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

15歳の春に苫小牧高専での学校生活が始まり、仲間との交流の中で新たな世界を知り、共に学び、共に成長してきましたが、それも終わりですね。この春からはそれぞれが選んだ新しい環境で新生活が始まります。

高専で身につけた力に自信を持って、未来へ向かって羽ばたいてください。皆さんがどんな未来を創っていくのか楽しみです。

そして楓菜へ。5年前の春。15歳で入寮するあなたに、入学はめでたいことなのに寂しさで心の中は複雑で…。でもあなたはいつも前を向き進路をどんどん明確にし、とうとうこの春からは北海道を離れ都会へ旅立つことに。更に遠く離れることは寂しさでいっぱいになりますが、あなたの「人に役立つものを創り出したい」という気持ちを心から応援し、あなたの背中を押しますよ。突き詰めてやりたいことがとことんできる環境に感謝して、東京でもあなたらしく周りに流されずに自分の道を切り拓いてくださいね。

最後になりましたが、5年間お世話になった全ての皆様に心より感謝いたします。

学会賞・高専賞受賞者一覧

高専賞

電気電子工学科	5年	岩 佐 百 華
環境都市工学科	5年	中 川 拓 己
電気電子工学科	5年	中 村 咲 月

特別功労賞

環境都市工学科	5年	本 間 龍 ノ 介
情報工学科	5年	秋 元 拓
環境都市工学科	5年	伊 藤 篤 史
電気電子工学科	5年	高 田 隼 世
物質工学科	5年	コノリー 里沙 タラ
環境都市工学科	5年	吉 村 介
物質工学科	5年	河 合 千 輝
情報工学科	5年	石 野 さ つ き

日本機械学会畠山賞

機械工学科	5年	角 田 洋 太 郎
-------	----	-----------

電気学会北海道支部長賞

電気電子工学科	5年	久 保 田 将 太
---------	----	-----------

情報処理学会

情報工学科	5年	鳥 木 瑛 司
-------	----	---------

日本化学会北海道支部賞

物質工学科	5年	馬 場 江 麻
-------	----	---------

全国高専土木工学会近藤賞

環境都市工学科	5年	中 川 拓 己
---------	----	---------

精密工学会北海道支部学生奨励賞

電子・生産システム工学専攻	2年	池 田 一 樹
---------------	----	---------

退職教員からのご挨拶

退職にあたって

旭 川高専を卒業して20年後の平成7年、縁あって本校に着任しました。以来25年間、大学を含めると39年間の教員生活に終止符を打ちました。高専の学生時代は寮生活、学校生活を通して、勉強は勿論のこと人生に必要な基本的なことを多く学んだ気がします。

着任時は学生時代を思い出して懐かしい気持ちになったと同時に、自分が体験した素晴らしい高専教育を実践したいという思いがありました。振り返って、講義、実験そして卒研指導などを通して学生の成長に貢献出来たかと考えるといささか疑問が残ります。ただ、社会で活躍している卒業生達の姿を見ていると、少しは役に立てたのではと慰めています。

最後の年は3年担任という貴重な体験をさせてもらいました。正直手を焼くこともありました、彼らのお陰でこの年になってもいろいろなことを学ばせてもらいました。彼らのこれからの成長と卒業後の活躍が楽しみです。

最後に、長い間支えていただいた教職員の皆様と苦楽を共にした可愛い(?)学生諸君に心からお礼申し上げます。お陰様で恵まれた教員生活を送ることができました。



創造工学科
応用化学・生物系
特任教授
清水祐一



退職にあたって

本 校には平成18年10月から13年6ヶ月間お世話になりました。年度途中からの採用ということもあって最初の頃は戸惑いもありましたが、慣れるにしたがって校務や講義以外に専門とする分野の研究ができる環境の有り難さを感じました。特に自らの研究を英語教育に取り入れたという点で、4・5年生選択科目「英語特論」でのスキーマを活用した英語学習法の実践は意義があったと思います。

また、専攻科1年生共通科目「応用英語」では専門とする認知言語学の知見がどういふ点で科学技術に貢献できるかというテーマも含め、新しい視点から英語学習の周辺にある様々な問題について、講義の中で学生の皆さんと一緒に考えることができたことは有意義でした。

最後になりますが、この間お世話になった教職員の皆様、学生の皆さんのご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。有り難うございました。



創造工学科
総合人文科学系
嘱託教授
沖本正憲

苫小牧高専協力会や地域の各機関との連携をますます活発化していきます!

地域共同研究センター長 須田孝徳

苫小牧高専協力会は1993年4月に発足し、これまで「苫小牧工業高等専門学校」の教育研究の充実に協力するとともに、相互の連携を密にしながら地域社会の発展や産学官連携の調整等に関する活動を実施しています。この協力会の会員企業数が2019年度（2020年3月末）で199社になりました。5年前の2014年度（2015年3月末）では92社でしたので2倍以上に増加したことになります。これも、協力会を大事にいただいている会員企業の皆様をはじめ、事務局を担当いただいている苫小牧商工会議所、卒業生の活躍による本校の好評価の維持・向上、そして教職員の継続的な協力のおかげだと考えております。

また、ここ5年間は、会員企業の皆様に本校の教育や研究に積極的に関与していただいております。例を挙げますと、キャリア教育センターや各科目の教員が企画・実施している「創造工学I（1年生対象）」と「創造工学III（3年生対象）」の項目の一つである「ジョブトーク」や、「協力会企業合同研究会」「苫小牧高専地域連携シンポジウム」など様々な場面で、協力会企業が学生に対し直接指

導いただいております。さらには、「共同教育（専攻科1年生）」の課題対応型教育にも参画いただいております。本年度にはフロンティアコースの5年生も参加する科目へと発展していきます。

2018年10月から、中心市街地にある苫小牧市経済センタービル内に苫小牧高専サテライト「C-base」を開設し、技術経営相談窓口の運用を始めました。苫小牧市や苫小牧商工会議所および中小企業支援機関（道央産業振興財団や金融機関など）等の専門家とチームを組み、企業等の課題解決をお手伝いしております。この「C-base」を、地域の様々な課題解決や、地域の機関と本校との共同研究や共同教育の拠点になることを目指し、地域の発展につなげていきたいと考えております。（下図を参照ください）しかしながら、地域の皆様のために効果を引き出すためには、学外、学内の多くの皆様のご理解とご協力が必要となります。皆様のますますのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

地域共同研究センターの活動

〈出前授業〉

地域貢献の一環として、苫小牧市近郊の小・中学校や各種団体等に対し、地域の生涯学習環境の充実に貢献することを目的として出前授業を実施しています。ドローンの操作体験や入浴剤作り等様々な授業を展開しています。



〈公開講座〉

主に小中学生を対象に、講座を通して「ものづくり」の楽しさを知ってもらうのが狙いです。実際にパソコンを使ってプログラミングしてみたり、実験装置を使って化学実験をしたりなど、高専での授業が体験出来る講座です。理科をはじめとした学問への興味や科学技術に関心を持ってもらおうと、趣向を凝らした様々な講座が展開されています。



苫小牧高専サテライト「C-base」

C-baseは、企業等からの技術経営相談窓口として運用されており、本校と地域企業の研究・教育連携を推進し、技術相談やオープンイノベーションの橋渡し等を促進しています。このC-baseで地元企業等が抱える課題を発掘し、学生の皆さんの力を借りて課題解決を目指しています。



〈科学のとびら〉

—苫小牧高専実験教室—

イオンモール苫小牧にて行われる大好評のイベントです。テーマごとにブースを設け、スライムを作ってみたり、レーザー加工機を使ってネームプレートを作ってみたりなど、様々な実験を実際に体験できる小・中学生向けの科学教室です。



他にもたくさんイベントを開催しています!



新任教員ご挨拶

4月から創造工学科応用化学・生物系の教員に着任いたしました長尾昌紀（ながおまきのり）と申します。本校の物質工学科および環境システム工学専攻を卒業・修了後、大学院から北海道大学に進学いたしました。高専時代は、授業こそ出席してはいましたが、隙あらば体育館でフットサル、部活動のサッカーと、ボールを蹴っている時間の方が長かったように感じます。そんな私が慣れ親しんだ母校に教員として着任し、お世話になった先生方と共に学生指導にあたるというのは、すごく不思議な感覚であるとともに非常に身の引き締まる思いです。

主な研究分野は「無機材料化学」や「触媒化学」です。例えば金属酸化物の一種である酸化チタンは、食品添加物や化粧品など我々の身近にも用いられている材料ですが、これを色素増感型太陽電池の電極材料として用いたり、特異な構造を有する酸化チタンの新規な合成方法を開発し、その触媒機能を開拓したりと、金属酸化物粉末材料の合成とその応用に関する研究を行ってきました。

学生の皆さんが少しでも工学に興味を持ち、学生生活を楽しく、有意義に送ることができるよう、苫小牧高専の卒業生として、そして教員として熱意をもって真摯に向き合いたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

創造工学科 応用化学・生物系 助教 長尾昌紀



TOPICS

学生寮で入寮式が行われました

令和2年4月6日（月）15時より、入学式に先立って本校学生寮において入寮式が行われました。第1学年男子67名、女子16名、第3学年へ編入する留学生2名（うち1名は入寮日未定）、合わせて85名が入寮しました。山際寮務主事から入寮許可宣言のあと、新入寮生代表がこれからの決意を込めて宣誓を行いました。

また、引き続き、保護者の方を対象として、説明会が行われ、学生寮担当教職員、指導寮生の紹介や寮生活における注意事項等の説明がありました。



ブックハンティング実施報告

11月1日(金)、札幌市中央区の紀伊国屋書店において学生図書委員の「ブックハンティング」を実施しました。
ブックハンティングとは、直接書店へ出向き、図書館へ所蔵したいと思う本を実際に手に取ってみて選ぶものです。

書名	著者名
ロボットメカニクス：機構学・機械力学の基礎 (ROBOT MECHANICS)	松元明弘 横田和隆
文系でもわかる電気回路：中学校の知識ですすい読める第2版	山下明
数学の証明のしかた	秋山仁
演習で学ぶ機械力学 第3版	小寺忠 矢野澄雄
例題で学ぶはじめての電磁気	白田昭司 井上祥史
図解でわかる!理工系のためのよい文章の書き方 論文・レポートを自力で書けるようになる方法	福地健太郎 園山隆輔
麦本三步の好きなもの	住野よる
プーさんの鼻	依万智
歴史人物怪異談事典	朝里樹
目を見て話せない	似鳥鶏
「こころ」異聞：書かれなかった遺言	若松英輔
水中翼船炎上中	穂村弘
図解でわかる暗記のすごいコツ 誰でも確実に結果が出せる35のテクニック	碓井孝介
サードドア (The Third Door) 精神的資産のふやし方	アレックス・バナヤン 大田黒奉之
学び効率が最大化するインプット大全	樺沢紫苑
習慣が10割：仕事、お金、人間関係-人生がうまくいく最も強力でシンプルな方法	吉井雅之
雑談が上手い人下手な人	森優子
誰でも簡単に疲れない体が入る濃縮睡眠メソッド	松本美栄
最高の脳で働く方法 (YOUR BRAIN AT WORK)	デイビッド・ロック 矢島麻里子
GACKTの勝ち方	GACKT
心。：人生を意のままにする力	稲盛和夫
「助けて」が言えない SOSを出さない人に支援者は何ができるか	松本 俊彦
クリームソーダ純喫茶めぐり	難波里奈
元素のすべてがわかる図鑑：世界をつくる118元素をひとつとく	若林文高
経済のことよくわからないまま社会人になった人へ：ひとめでわかる図解入り 第4版	池上彰
地震・水害・火災から守る緊急防災ハンドブック	日本能率協会 マネジメントセンター
AI時代に生き残る企業、淘汰される企業 シェアリング・エコノミー、フィンテック、IoTが作る未来	加谷珪一
性格類語辞典 (THE POSITIVE TRAIT THESAURUS) ポジティブ編	アンジェラ・アッカーマン ベッカ・パヴリッシュ 滝本杏奈
基礎からわかる!中長距離走トレーニング	櫛部静二
世界の路面電車ビジュアル図鑑 (World Trams Visual Reference)	杉田紀雄

書名	著者名
空の青さを知る人よ	超平和バスターズ 額賀澤
ポイントつくなら恋してもいいですか?	砂義出雲
15歳のテロリスト	松村涼哉
アルキメデスの大戦	三田紀房 佐野晶
5分後に意外な結末 ベスト・セレクション	桃戸ハル
ハナコトバ喫茶の事件図鑑	瀬橋ゆか
閉鎖病棟	帯木蓬生
毒：青酸カリからギンナンまで	船山信次
人間関係をリセットして自由になる心理学	DaiGo
眠れなくなるほど面白い図解古事記	吉田敦彦
かがやき荘アラサー探偵局	東川篤哉
神速Excel	中田元樹
「伝わるデザイン」PowerPoint資料作成術	渡辺克之
基本情報技術者らしくらく突破Java 午後問題対策の定番書! 改訂3版	菊田英明 原修身
ワンス・アポン・アン・アルゴリズム 物語で読み解く計算 (ONCE UPON AN ALGORITHM)	Martin Erwig 高島亮祐
ゲームプランナー入門 アイデア・企画書・仕様書の技術から就職まで	吉富賢介
たった2日でマスターできるiPhoneアプリ開発集中講座	藤治仁 小林加奈子 小林由憲
できるAutoCAD	矢野悦子 できるシリーズ編集部
ドット絵教室 描けば描くほど楽しくなる!	中川悠京
うかる!基本情報技術者 福嶋先生の集中ゼミ 2019年版午前編	福嶋宏訓
うかる!基本情報技術者 午後・表計算編	岡嶋裕史
公害防止管理者(水質関係)完全合格教本 ここが出る!! 改訂3版	浦瀬太郎
漢検漢字学習ステップ2級 改訂3版	日本漢字能力検定 協会 編
技術士第一次試験電気電子部門問題徹底詳解 第4版	前田隆文
環境社会検定試験eco検定公式テキスト 持続可能な社会をわたしたちの手で 改訂7版	東京商工会議所
測量士補合格ガイド 第2版	松原洋一
ためぐち英語 日常のリアルなひとこと (TAMEGUCHI PHRASE)	THOMAS K.FISHER
TOEICテストに必要な文法・単語・熟語が同時に身につく本	澤泰人 西田大
TOEIC L&R TEST初心者特急パート5	神崎正哉 Daniel Warriner
スコアが上がるTOEIC L&R テスト本番模試600問 新形式問題対応 改訂版	入江泉 宮野智靖

2019年度本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況について

2019年度卒業生進路状況							
学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合計	
求人会社数	696	715	576	444	495	2,926	
卒業生数	男	32	29	36	19	33	149
	女	3	4	3	13	7	30
進学者数	男	9	9	5	5	12	40
	女	0	2	0	5	2	9
企業等	男	21	19	30	13	19	102
	女	3	2	3	8	4	20
公務員	男	1	0	0	0	2	3
	女	0	0	0	0	0	0
進学先	長岡技術科学大学 (2) 豊橋技術科学大学 (4) 苫小牧高専専攻科 (3)	室蘭工業大学 東北大学 電気通信大学 長岡技術科学大学 (3) 豊橋技術科学大学 (2) 苫小牧高専専攻科 (3)	豊橋技術科学大学 千歳科学技術大学 苫小牧高専専攻科 (3)	北海道大学 工学部 茨城大学 工学部 静岡大学 農学部 東京工業大学 長岡技術科学大学 (2) 豊橋技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (3)	室蘭工業大学 (4) 横浜国立大学 福井大学 長岡技術科学大学 (3) 豊橋技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (3) 文化服装学院		
就職先	DMG森精機(株) JALエンジニアリング(株) 旭化成(株) 出光興産(株) 北海道製油所 大塚製薬工場(株) 花王(株) (2) カルビー(株) キリンビール(株)横浜工場 サントリーホールディングス(株) シンセメック(株) ダイナックス(株) タマディック(株) 東京食品機械(株) 苫小牧ガス(株) パナソニックアプライアンス社 ファナック(株) フジテック(株) 北海道ガス(株) 北海道旅客鉄道(株) 村田機械(株) メタウォーター(株) ライオン(株) (株)荏原製作所 札幌市役所	NTTコミュニケーションズ(株) (2) 出光興産(株) 王子エンジニアリング(株) キヤノンメディカルシステムズ(株) 中部電力(株) 電源開発(株) 日本貨物鉄道(株) 日立ヘルスケアシステムズ(株) 北海道電気工事(株) 北海道電気技術サービス(株) 北海道電力(株) 北海道旅客鉄道(株) 村田機械(株) レイズネクス(株) (株)NTTファシリティーズ北海道 (株)SUBARU (株)日立パワーソリューションズ (株)メンバーズ 雪印メグミルク(株) 東京コンピュータサービス(株)	AWL(株) KDDIエンジニアリング(株) NECネットエスアイ(株) NECフィールドディング(株) NTT東日本グループ (2) TMCシステム(株) アクレスコ(株) 出光興産(株) ウェルネット(株) (2) (株)エイ・ダブリュ・ソフトウェア キヤノンシステムアンドサポート(株) シンセメック(株) ソニーエンジニアリング(株) 東京水道サービス(株) 日信ITフィールドサービス(株) 日鉄テックスエンジ(株) ネクストウェア (株) 北海道エア・ウォーター(株) 北海道ガス(株) 三菱電機ビルテクノサービス(株) 山崎製パン(株) ラテラル・シンキング (株)NTTデータフロンティア (株)シーズラボ (株)星光社 (株)テクノラボ (株)ハイマックス (2) (株)富士通エフサス (株)北開水工コンサルタント	(公財)北海道労働保健管理協会 (一財)材料科学技術振興財団 (一社)日本血液製剤機構 千歳工場 JXTGエネルギー(株)川崎製油所 (2) 旭化成(株) 小川香料(株) サントリービール(株) 武蔵野ビール工場 第一工業製薬(株) 東新工業株式会社 日東電工(株) 豊橋事業所 ニプロ(株)再生医療研究開発センター(2) 森永乳業(株)佐呂間工場 (株)日立ハイテクフィールドディング (株)三井化学分析センター 出光興産(株)北海道製油所 (2) 第一三共ケミカルファーマ(株) (2) 日軽北海道(株)	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 JFEテクノス(株) NTTインフラネット(株) 岩田地崎建設(株) オリエンタル白石(株) 五洋建設(株) 大日本土木(株) 戸田建設(株) 日特建設(株) 日本高圧コンクリート(株) 日本製鉄(株) ヒロセ(株) 北海道ガス(株) (株)奥村組 (株)鴻池組 (株)ジェーピーシー苫小牧製造所 (株)シビテック (株)菅原組 (2) (株)タナカコンサルタント (株)つうけん (株)中山組 (株)ネクスコ・メンテナンス北海道 江別市役所 苫小牧市役所		

2019年度修了者進路状況				
専攻	電子生産システム工学専攻	環境システム工学専攻	合計	
求人会社数	619	464	1,083	
修了者数	男	15	10	25
	女	0	0	0
進学者数	男	5	0	5
	女	0	0	0
企業等	男	9	10	19
	女	0	0	0
公務員	男	1	0	1
	女	0	0	0
進学先	北海道大学大学院(3) 北陸先端科学技術大学院大学 長岡技術科学大学大学院			
就職先	オリンパス(株) パーソナルプロセス&テクノロジー パナソニック(株)オートモーティブ社 富士通(株) (株)ヴィッツ (株)マネーフォワード (株)ユーザローカル 東芝三菱電機産業システム(株) 日本カーボン(株) 平取市役所	キリンビール(株) ホクレン 花王(株) (株)ドーコン (株)日本血液製剤機構 (株)フルヤ金属 (株)大塚製薬工場 第一三共バイオテック(株) 中外製薬工業(株) 東亜建設工業(株)		

2019年度の進路状況の特徴としては、本科生対象の求人会社数が8年連続で順調に増加（最近6年をみると2019年度は2,926社、2018年度は2,884社、2017年度は2,668社、2016年度は2,418社、2015年度は2,256社、2014年度は2,069社）し、また専攻科生の求人会社数も例年に増して高水準を維持（2019年度は1,083社、2018年度は968社）していることにあります。これは本校の卒業生の活躍が企業や大学に高く評価された結果と考えております。また、本科生179名（内30名が女子）の卒業生の進路は、47名が道内就職、78名が道外就職、49名が進学する結果となりました。全就職者数に対する道内就職率の推移は2014年度44%、2015年度44%、2016年度41%、2017年度40%、2018年度24%、2019年度38%となっています。

本校の学生は、これからの困難な時代を地域社会や企業のなかでリーダーとして生きていかなければなりません。そのためにも、仕事に対する自己イメージを持たせるような教育は重要であり、いくつになっても常に自分自身のキャリア・デザインができるような素地をこの高専の在学中に作る必要と考えております。このようなことを踏まえ、本校では、キャリア講話や創造工学の授業を通して、コミュニケーション力、協調性、多様な価値観への理解、将来の先見性、自分自身の理解など、社会で必要な力を持ってもらえるように、「組織的」「系統的」なキャリア教育の一層の推進に取り組んでまいります。

2020年度も引き続き苫小牧高専卒業生により運営される同窓会「樽前会」及び苫小牧高専を支援して下さる地元産業界を中心とした企業の集まりである「協力会」と強く連携してキャリア教育に力を入れていきます。2019年度から続く新型コロナウイルスの影響が日本の経済にどれだけダメージを与えるか把握できない状況にありますが、どんな困難な状況の中でも苫小牧高専の卒業生が引き続き社会で必要とされる人材として社会に羽ばたいていけるよう、樽前会そして協力会の力を借りて我々もより一層の努力をする覚悟であります。

キャリア教育センター長 山下 徹

教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、
技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、
社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学生の学習目標

- I 人間性：正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- II 実践性：創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- III 国際性：世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科学生の学習目標

- I 人間性：正課、校外活動等を通して、豊かな人間性と教養および広い視野を身につける。
- II 創造性：複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- III 国際性：グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につける。

※専攻科で育成しようとする技術者像は、「教育理念」および「専攻科学生の学習目標」

「環境・生産システム工学」教育プログラム」の学習・教育到達目標 (対象：本科第4学年～専攻科)

- (A) 教 養：地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- (B) 倫 理 と 責 任：技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- (C) コミュニケーション：日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- (D) 工 学 基 礎：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- (E) 継 続 的 学 習：技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- (F) 専 門 の 実 践 技 術：ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
- (G) 複 合 領 域 の 実 践 技 術：他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
- (H) 社 会 と 時 代 が 求 め る 技 術：社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
- (I) チームワーク：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

英語コミュニケーション能力の学年目標

第1学年：英検準2級	第2学年：英検準2級～2級	第3学年：英検2級	第4学年：TOEICスコア450	第5学年：TOEICスコア500
専攻科第1学年：TOEICスコア550		専攻科第2学年：TOEICスコア600 (大手企業が大学卒業者に求めるTOEICスコアは、およそ600以上)		

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

人事異動

令和2年3月31日付

教育職員

【定年退職】

創造工学科教授 (都市・環境系担当) 栗山昌樹
創造工学科教授 (電気・電子系担当) 上田茂太

【雇用期間の満了】

創造工学科特命准教授 (都市・環境系担当) 長谷川 聡
創造工学科特任教授 (応用化学・生物系担当) 清水祐一
創造工学科嘱託教授 (総合人文科学系担当) 沖本正憲

事務職員・技術職員

【辞職】

総務課課長補佐 (財務担当) 伊藤光春

【雇用期間の満了】

事務補佐員 (村本充教授研究室) 三好なつみ

令和2年4月1日付

教育職員

【採用】

創造工学科准教授 (総合人文科学系担当) 石川愛弓
創造工学科助教 (応用化学・生物系担当) 長尾昌紀

【昇任】

創造工学科教授 (総合人文科学系担当) 東 俊文

【再雇用】

創造工学科特任教授 (都市・環境系担当) 栗山昌樹
創造工学科特任教授 (電気・電子系担当) 上田茂太

【再雇用更新】

創造工学科特任教授 (情報科学・工学系担当) 吉村 齋
創造工学科特任准教授 (機械系担当) 野口 勉

事務職員・技術職員

【採用】

総務課施設管理係主任 城 弘次
(北海道大学医学系事務部会計課 (営繕担当))
学生課学生係 箭子涼太
学生課学生係非常勤看護師 大森明美

【昇任】

学生課専門員 森 博和 (学生課学生係長)
学生課学生係長 大西朋子 (総務課総務係主任)

【配置換】

総務課財務係主任 三國谷理恵 (学生課学生係主任)
学生課教務係主任 酒井洋美 (学生課事務係主任)
学生課事務係事務補佐員 山口麻美 (学生課教務係事務補佐員)

【復帰】

総務課人事係主任 石橋舞子
(北海道大学北キャンパス合同事務部総務担当)

【出向】

北海道大学北キャンパス合同事務部総務担当 新井田知果 (総務課財務係)

【併任】

総務課課長補佐 (財務担当) 松橋和哉 (総務課長)

高専通信

vol.154 contents

- | | | | |
|----|----------------|----|----------------------------------|
| 1 | 新入生へ贈る言葉 | 8 | 卒業生父母からの言葉 |
| 2 | 在校生からのメッセージ | 9 | 学会賞・高専賞受賞者一覧 |
| 3 | 第1学年担任からのメッセージ | 10 | 退職教員からのご挨拶 |
| 4 | 各副校長ご挨拶 | 11 | 産学連携関係 |
| 5 | 新留学生紹介 | 12 | 新任教員ご挨拶 |
| 6 | 学生会の紹介 | 13 | TOPICS |
| 7 | 学生課からのお知らせ | 14 | フックハンティング実施報告 |
| 8 | 行事予定 | | 2019年度本科卒業生及び
専攻科修了者の進路状況について |
| 9 | 卒業生へ贈る言葉 | | 教育理念・学習目標等 |
| 10 | 卒業生・修了生からの言葉 | | 人事異動 |

編集後記

令和2年度最初の高専通信では、昨年度末から新年度にかけての本校の動きをお届けします。3月には179名の本科生と25名の専攻科生が巣立っていきました。ただし、北海道での新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、3月19日に予定していた卒業式・修了式を中止せざるを得ませんでした。

4月7日には入学式を実施して、216名の新1年生、2名の留学生、15名の専攻科生を新たに迎えました。また、1名の教員も迎えました。

しばらくの間、新型コロナウイルスの感染防止を常に考えながら授業もクラブ活動も実施するという状況ですが、互いに励まし協力し合って乗り切っていきたいと思っています。

本年度も高専通信により学校の様子を年3回に分けて皆様にお伝えします。

最新のニュースは本校のホームページに掲載しております。また、本校のFacebookでもカジュアルな情報も配信しております。そちらもご覧になって頂ければ幸いです。

総務主事 古崎 毅

[高専通信に関するお問い合わせ先]

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係〒059-1275 苫小牧市字錦岡443

TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

